

3月例会は「いつか読書する日」

2007年度総会は4月26日

例会のお知らせ

名称 / 第29回例会「いつか読書する日」

日時 / 3月20日(火) PM1:50 ~、PM4:10 ~、
PM6:30 ~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



【例会作品データ】

タイトル / いつか読書する日

監督 / 緒方明

出演 / 田中裕子、岸部一徳、仁科亜季子、渡辺美佐子、上田耕一

データ / 2004年、日本、カラー、2時間7分、35mm、ドラマ / ラブストーリー、2005年日本映画プロフェッショナル大賞作品賞受賞、同主演女優賞受賞、2005年モントリオール世界映画祭審査員特別賞受賞

ストーリー / 同じ町に暮らしながら、互いに相手への感情を胸の奥に秘めたまま別々の人生を歩んできた初恋の男女が、30年の時を経て、深く熱い想いを解き放っていくようすを描いた本格メロドラマ。美しい風景と心に響く音楽で、中年男女の不器用な恋を描く。

独身的美奈子は、牛乳配達を終えるとスーパーに

出勤してレジを打つ。夜は本がたくさん詰まった家でひとり過ごしている。そんな美奈子を見守っているのは、亡き母親の友人だった皆川敏子だ。敏子は痴呆症にかかった夫の真男を介護しながら小説を書いている。

毎朝、美奈子は敏子の家や、中学の同級生だった高梨槐多の家にも牛乳を届けている。市役所の福祉課に勤務する槐多は、末期癌の妻、容子を自宅で看病している。高校時代、美奈子と槐多は付き合っていたのだが、美奈子の母親と槐多の父親が自転車に2人乗りして交通事故に遭い亡くなったことから、疎遠になってしまった。

しかし、美奈子はずっと槐多への思いを胸に抱きつづけてきたのだった。美奈子は、その思いをラジオのDJに匿名で書き綴る。

「私には大切な人がいます。でも私の気持ちは絶対に知られてはならないのです……」

「独立少年合唱団」の緒方明監督が、田中裕子主演で描くある男女の恋物語。共演は岸部一徳。ロケは監督自身が少年時代を過ごした長崎で行われた。

例会選定会議の報告

2月15日に例会選定会議を行いましたので、その要点を報告します。

まず、作品についてですが、出席者やアンケートなどからの約20タイトルの候補作品の中から選考を進めていき、「トンマッコルへようこそ」(2005年、韓国)、「世界最速のインディアン」(2005年、アメリカ・ニュージーランド)、「ゆるる」(2006年、日本)に決まりかけていました。

しかし、「いずれも、フィルム料金が高くなりそうである」という一言から、選定方法をやり直すことになりました。そして、急遽、「料金が高くなさそうなものリスト」を作成し、その中で、最高得点を獲得した「マザー・テレサ」(2003年、イタリア・イギリス)を7月例会作品とすることだけを決め、その後は、運営状況を見ながら、はじめの3作品も含め、順次、決めていくことになりました。

現在、2006年度の会計を整理しているところです

が、例会で午前の部を試行したことや、例会作品の多くが、映写経費が高くなる 35mm フィルム作品であったことと、会員数の微減から、少し赤字になるかもしれません。

このような状況に敏感に反応しての、例会選定会議の対応でした。この会の活動の中心は、作品にこだわった映画鑑賞会だと考えますので、やはり、安定会員が 200 人から 250 人で運営したいところです。

例会選定会議で自分が推薦した作品が選ばれると、例会作品として会員に見ていただけるのですから、責任感と歓喜が溢れてくると思います。オスメの作品のある方は、どうぞこの会議に出席ください。

会費納入方法のお願い

この会の会費納入方法は、原則として、郵便局の通帳からの自動払込みとなっています。また、自動払込みを望まない人には、年度ごとに 1 年分の会費を現金で前納してもらっています。このことを守っていただきますようお願いいたします。

どうも、会場側や他の団体、また、ごく一部の会員から、入場料を集めての映画興行と勘違いされかけている節があります。このままだと、会場使用料金が 2 倍になるなどの影響も考えられます。機会があるごとに、きちんと説明しているのですが、例会受付での、金銭のやり取りを見ると、誤解されてもしかたない面もあります。また、現金のやり取りは、受付が渋滞したり、会計の担当者などの決まった人が、受付に常にいる必要があるなど、特定の会員への負担がたいへん大きくなってしまっています。

そこで、前回の運営委員会で、会費納入方法の徹底をお願いすることになりました。

例会は、加古川シネマクラブ会員の映画鑑賞のクラブ活動であって、入場料をいただく映画興行とは異なるものです。例会の準備をしている運営委員たちも、映画鑑賞団体のクラブ活動として、加古川地域で映画文化を広めたり、交流を深める活動をしているだけなのです。どうぞ、ご理解のうえご協力をお願いいたします。

会員全体の 80% 以上の方は問題ないのですが、10% 以上の方が、納入方法が 2000 円ずつとかバラバラの状態、この会員に強くお願いいたします。

残りの約 5% はというと、入会時から 4 箇月経って継続の意思がなく自動的に退会している人です。

定例総会開催のお知らせ

加古川シネマクラブでは、2007 年度の定例総会を下記のとおり開催いたします。1 年間の基本活動を決定する会議ですので、会員の皆さまには、ご出席いただきますようお願いいたします。

- 1 名称 2007 年度加古川シネマクラブ定例総会
- 2 日時 4 月 26 日(木)午後 7 時から 約 30 分間
- 3 場所 加古川総合文化センター 会議室 2
- 4 内容 2006 年度事業報告に関する事
2006 年度決算に関する事
2007 年度役員を選任に関する事
2007 年度事業計画に関する事
2007 年度予算に関する事
- 5 参加方法 直接会場にお集まりください。
- 6 その他 総会の前後の時間を使って、発送作業など 5 月例会の準備を行います。

当日に出席できない方は、委任状(書面であれば形式を問いません)を提出することによって、出席する会員に議決等を委任することができます。

前回例会の報告

1 月 25 日の例会では、「胡同(フートン)のひまわり」を鑑賞しました。参加会員 153 人。

近代化が急速に進む中国での、家族意識の変化をテーマに、中国の地方都市の社会と家族を、うまく描いたなかなかの作品でした。

運営委員退任のお知らせ

この会の設立のときから、運営委員を務めてきた山本香織さんが、3 月に加古川の地を離れることとなり、運営委員を退任し加古川シネマクラブを退会することとなりました。

永年の活動に感謝申し上げます。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300 字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 196 人(1 月 25 日現在)